平成24年第3回臨時会

上里町議会会議録

平成24年5月1日開会
平成24年5月1日閉会

上里町議会事務局

平成24年第3回上里町議会臨時会会議録第1号

平成24年5月1日（火曜日）

議事日程 第1号及び本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期決定について
- 日程第3 提出議案の報告について
- 日程第4 (町長提出議案第38号)専決処分の承認を求めることについて
- 日程第5 (町長提出議案第39号)専決処分の承認を求めることについて
- 日程第6 常任委員の選任について
- 日程第7 議会運営委員の選任について

(追加日程)

- 日程第8 上里町議会議長辞職許可について
- 日程第9 (選挙第11号)上里町議会議長選挙について
- 日程第10 上里町議会副議長辞職許可について
- 日程第11 (選挙第12号)上里町議会副議長選挙について

出席議員（13人）

1番	植原	育雄	君	2番	山	下	博	一	君
3番	植原	敏克	君	4番	高	橋	正	行	君
5番	納谷	克	君	6番	中	島	美	晴	君
7番	荒井	敏	君	8番	新	井	幸	實	君
9番	小暮		君	10番	沓	澤		子	君
11番	高橋		君	12番	伊	藤		裕	君
13番	根岸		君						

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町	長	関	根	孝	道	君	副	町	長	高	野	正	道	君
教	育	長	山	武	彦	君	総	務	課	戸	矢	隆	光	君
総合政策課長		石	原	秀	一	君	税	務	課	中	島		勇	君
健康保険課長		関	口		静	君								

事務局職員出席者

事務局長 横尾 邦雄 主査 戸矢 信男

開会・開議

午前 9 時 3 分開会・開議

議長（伊藤 裕君） ただいまの出席議員は、13名であります。定足数に達しておりますので、これより平成24年第3回上里町議会臨時会を開会します。直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名について

議長（伊藤 裕君） 日程第1 会議録署名議員の指名について、会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、9番小暮敏美議員、10番沓澤幸子議員、11番高橋 仁議員以上の3名を本会期中の会議録署名議員に指名いたします。

日程第2 会期決定について

議長（伊藤 裕君） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ご異議なしと認めます。

よって、会期は1日間と決定いたしました。

日程第3 提出議案の報告について

議長（伊藤 裕君） 提出議案の報告について、町長より議案の送付がありましたので、事務局をして議案の報告をいたさせます。事務局。

〔事務局長報告〕

日程第4 町長提出議案第38号 専決処分の承認を求めることについて

議長（伊藤 裕君） 日程第4 町長提出議案第38号 専決処分の承認を求めることについての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 議案第38号 専決処分の承認を求めることについて、

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律（平成24年法律第17号）に伴う上里町税条例の一部を改正する条例について、平成24年3月31日に地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定に基づき、ご報告させていただきたく承認を求めるものでございます。

このたびの改正は、税制の公平性及び課税の適正化の観点から要請される特に喫緊の課題に対応するため、町民税における東日本大震災の被災者に対する救済措置並びに固定資産税に関しては、住宅用地に適用される据置特例を廃止しつつ平成24年度の評価替えに伴う税負担の調整を行うほか、税負担軽減措置等の整理合理化等を行うこと等とされた地方税法の改正に伴い、上里町税条例の一部を改正する内容でございます。

第36条の2第1項は、町民税の申告の内容を規定したものでございます。年金所得者の申告手続きの簡素化の観点から、公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が寡婦（寡夫）控除を受けようとする場合の申告書の提出を不要とする内容でございます。これは、今まで所得が年金のみの方であっても、寡婦（寡夫）控除を受ける場合にあって

は所得税または住民税の申告書を提出する必要があったわけでございます。改正では年金所得者が事前に年金保険者（特別徴収義務者）に対して申告を行うことにより年金保険者が市町村に対して提出する公的年金等支払報告書の様式内に寡婦（寡夫）の記載をすることにより、年金所得者本人は申告書を提出する必要が無くなったものでございます。

第54条第7項は、地方税法施行規則第10条の2の改正に伴う関係条文の整理であります。第54条は固定資産税の納税義務者等について、第1項から第7項まで規定しております。

今回の改正は第7項について、施行規則の改正があり参照条文がずれたことによる整理となります。なお、第7項の内容については、家屋の設備について、家屋の所有者以外の者が、事業用に使うために取り付けたものについては、家屋の所有者以外の者を所有者とみなして固定資産税を課税するというものでございます。

附則第10条の2第6項、7項は、地方税法施行規則附則第7条の改正に伴う関係条文の整理であります。附則第10条の2は新築住宅等に対する固定資産税の減額規定の適用を受けようとする者がすべき申告について、さまざまな減額制度の申告手続き等を規定しております。今回改正の第6項、第7項については、参照する施行規則に削除の改正があり、ずれたことによる整理となります。

第6項の内容については、高齢者等居住改修住宅（バリアフリー改修）に関するもの、第7項の内容については、熱損失防止改修住宅（省エネ改修）に関するもの、どちらも翌年分に限りませんが、固定資産税が1/3に減額されるというものでございます。

附則第11条は、地方税法本法附則第18条の改正に伴う関係条文の整理であります。附則第11条は、土地に対して課する平成21年度から平成23年度までの各年度分の固定資産税の特例に関する用語の意義を定めている部分であります。固定資産税の評価替えを受けて平成21基準から平成24基準に変更する内容となっております。

見出し部分の適用年度の整理、及び同条中の第6号について、課税標準額の参照条文がずれたことによる整理をしております。また、農地について準用する評価替えについても追加し整理しております。

附則第11条の2は、第1項、第2項ともに、地方税法本法附則第17条の2の改正に伴う、関係条文の整理であります。附則第11条の2は、平成22年度又は平成23年度における土地の価格の特例を定めている部分であります。

土地の価格は基準年度から3年間は据え置くというルールがあり、3年に1度これを見直すことを評価替えとよんでおります。当該規定により基準年度でなくても時点修正により価格修正ができるという特例を定めております。

附則第12条は、宅地等に対して課する固定資産税について、地方税法本法附則第18条の改正に伴う、関係条文の整理であります。附則第12条は、宅地等に対して課する平成21年度から平成23年度までの各年度分の固定資産税の特例について規定しています。いわゆる負担調整措置とよんでいるものでございます。これは価格が急激に上昇した場合であっても、税負担の上昇は緩やかになるように是正する仕組みのことでございます。

今回の改正では、平成24基準の評価替えに対応した年度として、第12条の見出し部分及び各項の規定されている年度を整理したこと、及び第4項の住宅用地に係る据置特例を削除しております。よって、この時点では特例が廃止されてしまいますが、これから説明いたします改正条例附則第3条第2項で定める固定資産に関する経過措置の規定により、平成25年度までは負担水準90%（現行80%）以上の住宅用地について適用させて、平成26年度に廃止すると規定がされますので、結果的には内容を変えて、もう2年間延長されることとなります。

附則第13条は、農地に対して課する固定資産税について、地方税法本法附則第19条

の改正に伴う、関係条文の整理であります。附則第13条は、農地に対して課する平成21年度から平成23年度までの各年度分の固定資産税の特例を定めている部分であります。平成24基準の評価替えに対応した年度の整理として、見出し部分と第1項の規定を改めています。

当該規定は、農地の価格が上昇した場合であっても、価格を抑える役割をする負担水準による負担調整率の適用について定めております。

附則第15条は、地方税法本法附則第31条の3の改正に伴う、関係条文の整理であります。附則第15条は、特別土地保有税の課税の特例を定めている部分で、平成24基準の評価替えに対応した年度に改めています。

第1項は保有分に関する規定ですが、適用年度の整理及び課税標準となるべき額について、今回の条例改正で、附則第12条第4項が削除となり、参照する条文が1項ずれたため第6項までを第5項までとしたものでございます。なお、第2項は取得分についてですが、平成24年度の評価替え期間に対応させて、期限について平成24年3月31日までを平成27年3月31日までの取得としたものでございます。なお、上里町については、課税はございません。

附則第21条の2は、地方税法附則第41条の改正に伴う、関係条文の整理であります。附則第21条の2は、旧民法第34条の法人から移行した法人等に係る固定資産税の特例の適用を受けようとする者がすべき申告を定めている部分でございます。平成20年に公益法人関連三法が施行され、新たな公益法人制度がスタートしたことを受けて整備されたものでございます。

今回の条文追加は、現行の非課税規定が適用されている博物館、図書館、幼稚園の3施設について、適用範囲を一般社団・財団法人（特例民法法人から移行した一定の法人）に係る固定資産税等の非課税措置を追加するもので、その手続き等について規定しているものでございます。

附則第22条の2は、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を規定したものであり、新設条文でございます。

第1項は租税特別措置法で規定している譲渡所得における課税の特例を東日本大震災による被災家屋に適用させる内容であります。この措置法で規定している内容といたしましては、自分が住んでいる居住用財産を譲渡したときや、以前に住んでいた居住用財産をそこに住まなくなってから3年後の属する12月31日までに譲渡したとき等、一定の要件に該当すれば譲渡金額から特別控除ができる特例であります。東日本大震災では、この3年後を震災特例法により7年後と読み替えて期間を延長し、災害によって家屋が滅失したことにより居住の用に供することができなくなった所得割の納税義務者が、その敷地に供されていた土地等を買換え等の目的で譲渡する場合において、譲渡益がある場合には特別控除が受けられ、譲渡損失が生じた場合には譲渡所得以外の他の所得と損益通算を行ったうえで、引ききれない場合には3年間にわたり繰越控除を認める内容となったものでございます。

第2項は本人が第1項の譲渡をした場合、この特例の適用を受ける場合における確定申告書を提出する際における取扱いを規定したものでございます。

附則第23条は、東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の特例期限の特例を規定したものでございます。いわゆる新築住宅等におけるローン控除の内容でございます。上里町に於いては現在のところ該当者はいないと思われれます。所得割の納税義務者が住宅借入金等を使用して住宅を購入した後に東日本大震災により被災した場合における今後のローン控除の取り扱い、及び被災したことにより住宅を再建した場合のローン控除の取り扱いを適用したものであります。

第1項は文言を含め、文書の整理を行う内容であります。

第2項は新設でありまして、震災により以前の住宅が滅失し、新たに住宅を再建する場合において、住宅借入金等を使用して平成25年12月31日までに再建する場合における借入金に対するローン控除の取り扱いを震災特例法により読み替えて東日本大震災の再建住宅に適用させる内容でございます。

次に、改正条例の附則について説明をいたします。

第1条は、この条例の施行日について平成24年4月1日からとしております。ただし、第36条の2第1項ただし書の改正規定、及び次条第1項の規定は、平成26年1月1日からの施行としております。

第2条は、町民税に関する経過措置についての規定であります。

第1項は、改正後における第36条の2第1項の平成25年度分までの取扱いを規定したものでございます。

第2項は、改正後における附則第23条の平成24年度以後の取扱い、及び23年度分までの取扱いを規定したものであります。

第3条は、固定資産税に関する経過措置を定めた部分で、全部で3項あります。

第1項は、別段の定めがあるものを除き、新条例の規定中で固定資産に関する部分は、平成24年度以後の年度分の固定資産税についての適用であること。また、平成23年度までの固定資産税については、なお従前のとおりである旨の規定をしたものでございます。

第2項は、住宅用地に関する平成24年度から平成26年度における負担調整について定めています。住宅用地については、旧法では据置き特例を負担水準80%以上としていましたが、これを90%以上とし、平成24・25年度まで適用させて、26年度以降は廃止するというものでございます。これは、本法附則第12条と関連しており、そこで少し説明した部分でございます。住宅用地の据置き特例は、改正前の町税条例の附則第12条第2項(住宅用地に係る部分に限る。)及び第4項により定められていましたが、この度の税制改正を受けて、ここで定める据置き特例について廃止し、今回の改正条例の附則により経過措置として平成24・25年度について適用させることについて定めたものでございます。

第3項は、前項の住宅用地に関する平成24年度から平成26年度における負担調整についての経過措置等を受けて、これに関連する制度として2点を整理しております。

1つは免税点について経過措置を適用した後の課税標準とすること、2つ目は特別土地保有税の課税標準額についても、やはり経過措置を適用した後の課税標準とすることについて定めております。

以上をもちまして、専決処分いたしました上里町税条例改正の内容説明とさせていただきます。

慎重審議をいただき、ご承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議長(伊藤 裕君) これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は、順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長(伊藤 裕君) 質疑がないようですのでこれで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長(伊藤 裕君) ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより、議案第38号 専決処分の承認を求めることについての件を起立により採決いたします。

本件は、承認することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本件は承認することに決定しました。

日程第5 町長提出議案第39号 専決処分の承認を求めることについて

議長（伊藤 裕君） 日程第5 町長提出議案第39号 専決処分の承認を求めることについての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 議案第39号 専決処分の承認を求めることについて、

地方税法の一部を改正する法律（平成24年法律第17号）に伴う上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、平成24年3月31日に地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定に基づき、ご報告させていただきたく承認を求めるものでございます。

このたびの改正は、東日本大震災の被災者に対する救済措置のための上里町国民健康保険税条例の一部を改正する内容でございます。

附則第15項を附則第16項とし、新たに附則第15項として東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を規定したものでございます。内容としましては、世帯主または、その世帯に属する国民健康保険の被保険者が東日本大震災により被災し、所有していた家屋が滅失したことによりその土地を譲渡する場合には、そこに住まなくなってから7年後の属する12月31日までに譲渡するのであれば居住用財産の譲渡所得の特例が受けられると規定した震災特例法を国民健康保険税の課税に反映させる内容のものでございます。

以上をもちまして、専決処分いたしました上里町国民健康保険税条例改正の内容説明とさせていただきます。

慎重審議をいただき、ご承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議長（伊藤 裕君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は、順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですのでこれで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより、議案第39号 専決処分の承認を求めることについての件を起立により採決いたします。

本件は、承認することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本件は承認することに決定しました。

議長（伊藤 裕君） 暫時休憩いたします。

午前9時25分 休憩

午前9時35分 再開

副議長（新井 實君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程の追加

副議長（新井 實君） 議長 伊藤 裕議員より、上里町議会議長の辞職願が提出されました。お諮りいたします。この際、議長の辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

副議長（新井 實君） ご異議なしと認めます。よって、この際、議長の辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

日程第8 上里町議会議長辞職許可について

副議長（新井 實君） 日程第8 上里町議会議長辞職許可についての件を議題といたします。地方自治法第117条の規定によって、伊藤 裕議員の退席を求めます。

〔伊藤 裕議員退席〕

副議長（新井 實君） まず、事務局をして辞職願を朗読させます。

事務局

〔事務局長朗読〕

副議長（新井 實君） お諮りいたします。伊藤 裕議員の議長辞職を許可することに賛成の議員の起立を求めます。

副議長（新井 實君） 起立全員であります。よって、伊藤 裕議員の議長辞職は許可されました。

副議長（新井 實君） この際、伊藤 裕議員の退席を解きます。議席へお戻り下さい。

〔伊藤 裕議員復席〕

副議長（新井 實君） 暫時休憩いたします。

午前9時36分 休憩

午前9時38分 再開

副議長（新井 實君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

副議長（新井 實君） お諮りいたします。この際、議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

副議長（新井 實君） ご異議なしと認めます。よって、この際、議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行うことに決定しました。

日程第9 上里町議会議長選挙について

副議長（新井 實君） 日程第9 選挙第11号 上里町議会議長選挙を行います。選挙は、投票で行います。議場の出入口を閉鎖いたします。

〔議場の出入口閉鎖〕

副議長（新井 實君） ただいまの出席議員数は、13名であります。会議規則第32条第2項の規定により、立会人に3番植井敏夫議員、4番高橋正行議員、5番納谷克俊議員を指名いたします。

副議長（新井 實君） 投票用紙を配布いたします。

〔投票用紙配布〕

副議長（新井 實君） 投票用紙の配布漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

副議長（新井 實君） 配布漏れなしと認めます。投票箱を改めさせます。
異状はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

副議長（新井 實君） 異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。これより投票に移ります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、職員の点呼に応じ、順次投票を願います。

〔職員の声により投票〕

副議長（新井 實君） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

副議長（新井 實君） 投票漏れなしと認め、投票を終了いたします。これより開票いたします。先ほど立会人に指名いたしました、植井敏夫議員、高橋正行議員、納谷克俊議員の立会いをお願いいたします。

〔開票・点検作業〕

副議長（新井 實君） 会議規則第33条第1項の規定により、選挙の結果を報告いたします。投票総数13票、これは先ほどの出席議員数に符号いたします。

その内

有効投票数 12票

無効 1票

有効投票中

高橋正行議員 11票

沓澤幸子議員 1票

以上のおりであります。この選挙の法定得票数は3票であります。よって、高橋正行議員が当選されました。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場の出入口閉鎖解除〕

副議長（新井 實君） ただいま議長に当選されました、高橋正行議員が議場におられますので、会議規則第33条第2項の規定により告知いたします。議長に当選されました、高橋正行議員から承諾及びあいさつをお願いいたします。

〔4番 高橋正行君登壇〕

4番（高橋正行君） ただいまの議長選におきまして、議員の皆様にご推挙いただきまして議会議長に当選させていただきました高橋でございます。大変身に余る光栄であり、また、事の重大さに身の引き締る思いでございます。今後、議会活動におきましては、公正かつ円滑な議会運営を努力しておこなってまいり所存でございますが、議員の皆様方よりいっそうのご理解とご協力をお願い申し上げまして、議長就任のあいさつとさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

副議長（新井 實君） 暫時休憩いたします。

午前9時55分 休憩

午前10時5分 再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） 副議長 新井 實議員より、上里町議会副議長の辞職願が提出されました。お諮りいたします。この際、副議長の辞職の件を日程に追加し、直ちに議題としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ご異議なしと認めます。よって、この際、副議長の辞職の件を日程

に追加し、直ちに議題といたします。

日程第10 上里町議会副議長辞職許可について

議長（高橋正行君） 日程第10 上里町議会副議長辞職許可についての件を議題といたします。地方自治法第117条の規定によって、新井 實議員の退席を求めます。

〔新井 實議員退席〕

議長（高橋正行君） まず、事務局をして辞職願を朗読させます。

事務局

〔事務局長朗読〕

議長（高橋正行君） お諮りいたします。新井 實議員の副議長辞職を許可することに賛成の議員の起立を求めます。

議長（高橋正行君） 起立全員であります。よって、新井 實議員の副議長辞職は許可されました。

議長（高橋正行君） この際、新井 實議員の退席を解きます。議席へお戻り下さい。

〔新井 實議員復席〕

議長（高橋正行君） 暫時休憩いたします。

午前10時10分 休憩

午前10時11分 再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） お諮りいたします。この際、副議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ご異議なしと認めます。よって、この際、副議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行うことに決定しました。

日程第11 上里町議会副議長選挙について

議長（高橋正行君） 日程第11 選挙第12号 上里町議会副議長選挙を行います。選挙は、投票で行います。議場の出入口を閉鎖いたします。

〔議場の出入口閉鎖〕

議長（高橋正行君） ただいまの出席議員数は、13名であります。会議規則第32条第2項の規定により、立会人に3番植井敏夫議員、5番納谷克俊議員、6番中島美晴議員を指名いたします。

議長（高橋正行君） 投票用紙を配布いたします。

〔投票用紙配布〕

議長（高橋正行君） 投票用紙の配布漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 配布漏れなしと認めます。投票箱を改めさせます。

異状はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。これより投票に移ります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、職員の点呼に応じ、順次投票を願います。

〔職員の声により投票〕

議長（高橋正行君） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 投票漏れなしと認め、投票を終了いたします。これより開票いたします。先ほど立会人に指名いたしました、植井敏夫議員、納谷克俊議員、中島美晴議員の立会いをお願いいたします。

〔開票・点検作業〕

議長（高橋正行君） 会議規則第33条第1項の規定により、選挙の結果を報告いたします。投票総数13票、これは先ほどの出席議員数に符号いたします。

その内

有効投票数 13票
無効 なし

有効投票中

植井敏夫議員 12票
沓澤幸子議員 1票

以上のとおりであります。この選挙の法定得票数は4票であります。よって、植井敏夫議員が当選されました。

議場の出入口の閉鎖を解きます。

〔議場の出入口閉鎖解除〕

議長（高橋正行君） ただいま副議長に当選されました、植井敏夫議員が議場におられますので、会議規則第33条第2項の規定により告知いたします。副議長に当選されました植井敏夫議員から承諾及びあいさつをお願いいたします。

〔3番 植井敏夫君登壇〕

3番（植井敏夫君） ただいま副議長に任命されました植井敏夫でございます。また、皆さんの温かい気持ちを充分に感じておりますけど、議長とともに力を合わせて、議会がスムーズな形で、また町の発展ができるような手助けができればありがたいと思っております。今後とも皆様のご協力を借りながらやっていきたいと思っております。よろしく申し上げます。ありがとうございます。

議長（高橋正行君） 暫時休憩いたします。

午前10時25分 休憩

午前11時5分 再開

日程第6 常任委員会委員の選任について

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） 日程第6 常任委員の選任を行います。お諮りいたします。常任委員の選任については、議会委員会条例第7条第1項の規定によって指名したいと思っております。事務局をして、各議員の所属常任委員会を報告いたさせます。事務局。

〔事務局長報告〕

事務局長（横尾邦雄君） 朗読いたします。総務経済常任委員会、2番山下博一議員、3番植井敏夫議員、7番荒井 肇議員、8番新井 實議員、9番小暮敏美議員、11番高橋仁議員。以上6名です。続けて報告いたします。文教厚生常任委員会、1番植原育雄議員、4番高橋正行議員、5番納谷克俊議員、6番中島美晴議員、10番沓澤幸子議員、12番伊藤 裕議員、13番根岸 晃議員。以上の7名です。以上で報告を終わります。

議長（高橋正行君） お諮りいたします。

ただ今、事務局の報告のとおり指名することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ご異議なしと認めます。よって、ただ今指名したとおり、選任する

ことに決定しました。次に各常任委員会の委員長及び副委員長の互選について、委員会条例第8条第2項の規定により各常任委員会を開催し、互選を願います。

議長（高橋正行君） 会議の場所については、総務経済常任委員会は、委員会室3、文教厚生常任委員会は、委員会室2において、お願いいたします。

議長（高橋正行君） 暫時休憩いたします。

午前11時8分 休憩

午前11時39分 再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） 各常任委員会を開催し、委員長及び副委員長の互選が行われたので、その結果を報告します。総務経済常任委員長に山下博一議員、同副委員長に新井 實議員、文教厚生常任委員長に植原育雄議員、同副委員長に伊藤 裕議員、以上のとおりであります。

日程第7 議会運営委員会委員の選任について

議長（高橋正行君） 日程第7 議会運営委員会委員の選任を行います。

お諮りいたします。議会運営委員の選任については、議会委員会条例第7条第1項の規定によって、荒井 肇議員、小暮敏美議員、高橋 仁議員、納谷克俊議員、中島美晴議員、根岸 晃議員を指名したいと思っております。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ご異議なしと認めます。よって、ただ今指名いたしました、荒井 肇議員、小暮敏美議員、高橋 仁議員、納谷克俊議員、中島美晴議員、根岸 晃議員を選任することに決定しました。

次に、議会運営委員会の委員長及び副委員長の互選について、委員会条例第8条第2項の規定により、委員会を開催し互選を願います。

会議場所については、委員会室3においてお願いいたします。

議長（高橋正行君） 暫時休憩いたします。

午前11時43分 休憩

午前11時54分 再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） 議会運営委員会を開催し、委員長及び副委員長の互選が行われたので、その結果を報告します。議会運営委員会委員長に納谷克俊議員、同副委員長に荒井 肇議員。以上のとおりであります。

閉 会

議長（高橋正行君） 以上で、本臨時会に付議された案件の審議は、全部終了いたしました。

これをもって、平成24年第3回上里町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午前11時55分散会

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定によりここに署名する。

議 会 議 長 伊 藤 裕

議 会 副 議 長 新 井 實

議 会 議 長 高 橋 正 行

議 会 議 員 小 暮 敏 美

議 会 議 員 沓 澤 幸 子

議 会 議 員 高 橋 仁